

BASARE4 発刊にあたって

「まちのしあわせ」の 3 点セット

コーヒーのおいしいまちは幸福度が高い。
そんな調査結果があるそうです。

コーヒーの香り。それだけでもしあわせな気持ちになれます。
一人で飲むのもいいですが、二人で飲むと、なおいっそう。

コーヒーは、差し出した人と受け取った人の間に、自然と感謝の気持ちが表れます。
豊かな気分が立ちのぼり、充実した時間を共有することができます。
理想的な暮らしというのは、コーヒー一杯分のしあわせの積み重ねなのかもしれません。
「コーヒーを楽しむ人が増えると、きっといいまちになる」
今回の取材で出会った言葉です。うん、やっぱり、そう思います。

仕事の意味は、もともと「何かをすること」だったそうです。
それが、「誰かのために役に立つこと」になり、いつしか「お金を稼ぐために行うこと(職業)」の意味へ。
いま、「誰かのために役に立つこと」の意味の仕事が見直されています。
私たちの周りでも、そんな「誰かのために役に立つ仕事」が増えているように思います。
その多くが、職業までにはない「小さな仕事」というのも特徴です。

ただし、生計を立てることも大事です。
でも、「小さな仕事」をいくつか集めれば、それも可能なのでは。
たとえば、月 3 万円の仕事が 10 個集まれば 30 万円の収入になります。
大事なのは、無理をせず、自分自身も楽しむこと。
そのためには、お互いの顔が見えるくらいの小さな単位を対象にするのもコツです。
たとえば、集落単位くらいの範囲でも仕事のタネはあると思います。

仕事とは、本来的には、うれしいものだと思います。
自分らしく人の役に立ち、関わる人を豊かにし、喜びをシェア（共有）する。
日々、この流れをていねいにつくることが「いい仕事」になっていきます。
おいしいコーヒーを入れるのも「いい仕事」です。

おいしいコーヒーと、小さな仕事、そして喜びのシェア。
今回、BASARE が提案した「まちのしあわせ」の 3 点セットです。